

公益社団法人私立大学情報教育協会
平成 28 年度第 5 回大学情報システム研究委員会議事概要

- I. 日 時：平成 29 年 2 月 28 日(火) 13:00 から 15:00 まで
II. 場 所：私立大学情報教育協会事務局会議室
III. 参加者：大野担当理事、岩井委員長、杉山委員、藤本委員、小川委員 (Skype)、
森本アドバイザー、ニッセイコム
事務局：井端事務局長、野本

IV. 検討事項

1. 「e ポートフォリオシステムでとりあげるべき最小限必要な機能」、「e ポートフォリオに求められる利便性」、「e ポートフォリオシステム利用上の留意点」、「e ポートフォリオデータの IR システムへの接続」について再確認を行った。以下に指摘事項を報告する。

- ・ Can-Do リストの部分では、システムの説明が不十分なことから、「シラバス」があり、授業の「ワークシート」があり、「Can-Do リスト」があることの関連付けがわかる遷移図を追加することにした。
- ・ キャリア用では、1 年生用として 10 年後を考えさせるのではなく、4 年後の自分、現在の自分、4 年後の自分に近づくために必要な能力などシンプルにすることにした。
- ・ キャリア用の動機づけとして、成績の一部に含めるなどの工夫も考えられるなどの記述にすること。または、ポイント化とした場合には、図の中にポイントの印が付くコラムを追加することではどうか。
- ・ キャリア用として、理系のキャリアポートフォリオ画面を例として掲載することにした。

2. 「e ポートフォリオシステムの導入事例と課題の紹介」の整理方法について検討をした。以下に、指摘事項と事例のまとめ方について報告する。

- ・ 問題点の指摘があり、オープンソース利用に「オープンソースを利用する場合には、運用をシステムに合わせる必要がある。」との記述を追加することにした。
- ・ 代表画面は、大学別ではなく項目別に並べて紹介することにした。項目案は、「メニュー画面」、「行動履歴」、「振り返り・自己分析」、「能力の可視化」、「達成度・コメント欄」などとして並べてみることにした。
- ・ アンケート形式の回答結果は、横長の表形式にして、「独自開発」、「パッケージ」、「オープンソース利用」の括りで整理することにした。
- ・ 回答項目最後の課題については、表に入れることなく、「課題について以下のようなご意見をいただきました」として別建てにすることにした。

3. 最終報告のまとめ方について報告する。

- ・ 25 年度からの報告を合本して、前書きと最後のまとめに部分を追加し、最終報告書としてまとめ直すことにした。

V. 今後の検討の進め方について

次回は 3 月 30 日に開催することにした。

岩井委員長中心に遷移図と事例整理及び合本による前書きとまとめを行うことにした。